

添付資料

**議題名：「NGOとODAの連携に関する中期計画～協働のための5年間の方向性～」(連携中期計画)
これまでの成果とその検証について**

【提案者氏名、所属】

氏名：今西 浩明

所属：(特活)国際協力NGOセンター 連携推進委員

【これまでの成果や進捗の評価や検証の方法(具体的な実施の体制、計画)について(案)】

1. 当面のゴール：2019年度第一回連携推進委員会にて、第4年次(2018年6月～2019年6月)の進捗報告書とともに、4年次までの成果と教訓をまとめた報告書を提出する。
2. 方法：外務省、JICA及びNGO側の3者で、中期計画の10項目について2～3回TF(あるいは個別の部会?)を実施し、成果と教訓(課題?)を取りまとめる。
⇒第3者に評価を依頼することは可能か?その場合の費用負担はどうするのか?
3. 具体的なとりまとめ方
 - 1) 成果と教訓の取りまとめ報告書の項目、及び分担を決定する(項目ごとの文書量などの目安も決める)
 - 2) その際に、できれば開始時と終了時の目標の確認も行う。
 - 3) その中で10項目ごとに担当者を決め、とりまとめを行い、成果と教訓を中心に執筆する。
 - 4) 3)の結果を踏まえて、適宜2～3回のTFで内容の確認を行う。
4. 具体的な日程(第一回連携推進委員会が7月上旬開催の想定)
 - ① 4月上旬：1)の決定⇒分担ごとに執筆開始
 - ② 4月下旬、5月中旬、6月上旬の3回に分けて、執筆取りまとめ、TFでの確認。
 - ③ 6月下旬までに、とりまとめの報告書第一ドラフト完成
 - ④ 7月上旬の第一回連携推進委員会で報告、議論
5. 参考資料
 - 1) これまでの進捗報告書(3年分)
 - 2) NGO側作成のエクセルのモニタリング表

以上